

○議長（小林哲雄）

日程第2 陳情第2号 保育所モナミの「認可保育園」認可に関する陳情を議題とします。

陳情文書表を事務局長に朗読させます。

○事務局長（秋谷 勉）

それでは、平成25年第1回開成町議会定例会12月会議、陳情文書表、陳情第2号、朗読いたします。

受理番号第2号、受理年月日、平成25年9月24日、件名、保育所モナミの「認可保育園」認可に関する陳情。陳情者の住所及び氏名、開成町吉田島1716番地2、保育所モナミ保護者及び職員一同、代表提出者、鈴木晃子。陳情の要旨、別紙のとおり、付託委員会、何々常任委員会、付託年月日、平成年月日。

以上でございます。

○議長（小林哲雄）

お諮りします。陳情第2号を所管の委員会に付託したいと思いますが、ご異議ございませんか。

山田議員。

○8番（山田貴弘）

8番、山田貴弘です。

このたびの陳情の件に対して、教育民生のほうの分野の部分で陳情が回されて議論されると思うのですが、そこの中での議論をちょっとしてもらいたいというのが、今回の陳情を見る中で言いたいことがありますので、ここの席で言わせてもらいます。

今回、趣旨ということで陳情が出されております。開成町のそこでの受け入れが町外29名あるということで、町内外合計47名、2.5倍の倍率であるという現状を踏まえた中で、要は、町外と町内との比率の部分の割合とか、そういうものなんかも審査をしてもらいたい。累計の中で今までの利用者数を数字にあらわすと253名が開成町の在籍利用者だという報告がこの中でありますが、町外を合わせると1,512名ということで、これも倍率を調べると6倍ぐらいの比率であるということで、どちらかというところでは6倍として町外の方が多いのではないのかなというところがあるのですが、こころの25年9月の統計で見ると2.5倍ということで、若干増えてきているのかなということで、こころの認可外保育園の利用度というものが重要性が増してきたのかなという背景が、この中で見えるというところがありますので、こころは今までの経過などを調べて吟味してもらいたいなという。

ただし、1から5の中で挙げられている中で、認可保育園申し込み時、定員に空きがなかったとか、2に対して認可保育園入園の緊急性が低いと判断されたというところで、現状の認可保育園がどのような現状になっているかというところが重要なのかなというふうに感じております。また、3から4、5というのは、そのときの状況、認可の状況によってのあれで、若干、これ家庭の事情があるのかなという

ところが見受けられますので、ここの部分での趣旨というものが述べられている中で、今回の陳情というのは認可保育園の認可に関する陳情ということですが、開成町における現状の認可保育園の定員枠及び受け入れ要件の実態調査が必要ではないのかなというところがここの部分で見えますので、その上で認可保育園の改善が必要であれば、何らかのアクションを図るべきであるのではないのかなというふうに考えておりますので、ぜひ、委員会付託された上には、そこら辺の調査を慎重に審議をして、現状の認可保育園との施設が変わることによって格差が出てはいけないので、そこら辺を慎重に審議した中で、この陳情を委員会のほうで審査されたというふうに意見としてつけさせてもらいます。よろしく申し上げます。

○議長（小林哲雄）

ただいまの意見、趣旨並びに陳情項目について、所管の委員会で、それを含めて審議していただくように私からも申し伝えます。

ほかにございますか。よろしいですか。

（「なし」という者多数）

○議長（小林哲雄）

それでは、もう一度、お伺いします。陳情第2号を所管の委員会に付託したいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」という者多数）

○議長（小林哲雄）

ご異議なしと認め、陳情第2号は教育民生常任委員会に付託いたします。